

Code Orange

第44号

大阪国際空港航空機事故対策総合訓練

2014年10月23日

今回の訓練は、大阪国際空港で着陸後第一エンジンから出火し、滑走路上で爆破炎上。乗員乗客に多数の負傷者が発生したという想定で行われ、行政、空港、消防、警察、医療機関合わせて52機関が参加しました。当センターからDMATカーで現地へ向かいました。当センターDMATはトリアージエリア担当となりました。今回はサイボウズLive、アクションカードを使用しての訓練という初めての試みで、苦戦しつつも何とか負傷者をトリアージしました。訓練終了後の反省会では、今回の試みに対し意見交換がなされました。DMATの災害に対する熱い思いを感じました。



NBC災害・テロ対策研修

2014年11月6～8日

NBC災害・テロ対策研修が3日間にわたり当センターにて実施されました。救命救急センターにおけるNBCテロ災害被害者の受け入れに必要な要員の養成、および、NBCテロ災害時に基幹病院から拠点病院へ派遣する医療機関支援チームの要員の養成を目標とした研修です。全国から救急医療施設15チーム75名が参加しました。1日目は日本中毒情報センター代表理事でもある当センター吉岡院長の講義から始まり、NBCテロ災害の事例検討を中心に医師向けの診療手順や事務向けの講義が行われました。2日目は医師、看護師は模擬患者を用いた診療実習、業務調整委員は災害本部を設置し、院内現地指揮者およびNBCテロ対処現地関係機関連携モデルに基づいた関係機関との情報共有体制を意識した実習を行いました。3日目は、これまで得た知識を集約した実動訓練を実施しました。想定は、長居公園で何らかの化学物質が撒かれ、体調不良を訴える患者が当センターに自力、もしくは消防隊により来院する、というものでした。実際に汚染拡散防止のためゲートを作成し、汚染除去のためのトリアージブース、除染ブース、除染後のトリアージブースを作成。汚染患者役の迫真の演技や防護衣着用によるコミュニケーションのとりづらさを体感したことにより、普段の災害発生時とはまた異なった対応力が必要であることを実感することが出来ました。3日間の研修で学んだ多くの事を、実際に被害を受けるような事態に遭遇した時に活用できるよう、維持していきたいと思えます。

